



みなさんが利用し、処理されずに保管されてきたPCB。その廃棄物を安心・安全に処理するため、処理施設の本格稼働に向けてさまざまな試運転が行われました。

PCB廃棄物処理施設

北海道PCB廃棄物処理事業

PCB廃棄物処理施設の試運転結果

PCB処理情報センター



所在地：御崎町1丁目9番地8
 開館日：月曜日～金曜日（祝日、年末・年始を除く）
 開館時間：9時～16時30分

円卓会議の報告書など、各種資料を閲覧できるほか、施設内で処理するPCB廃棄物のサンプルなどを展示



日本環境安全事業(株)北海道事業所では、PCB（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物処理施設の本格稼働に向け、処理の安全性などを確認するための試運転を行ってきました。今回は、その主な内容をお知らせします。

この試運転の結果は、日本環境安全事業(株)がまとめた「北海道PCB廃棄物処理施設試運転・収集運搬結果報告」で公表されています。報告書の詳しい内容は、PCB処理情報センターで見ることができます。



PCB廃棄物を積んだ車の運行状況は、GPS（人工衛星を利用して位置を確認するシステム）で確認

緊急停止機能確認試験

（平成19年12月）

停電など異常が起こった時に、施

施設が緊急停止と再起動できることを確認

PCBを含まない廃棄物（トランス、コンデンサなど）で、受け入れから検査、処理まで一連の作業を実施。配管ラインや各機器の耐圧・気密試験などにより、調整や作業手順の見直しを行い、正常に動作することを確認しました。

非PCB廃棄物（模擬試験物）負荷試験運転

（平成19年10月～12月）

PCBを含まない廃棄物の試験運転で、各種機器類が正常に動作することを確認



PCB廃棄物は、専用の運搬容器により、安全で確実に処理施設まで輸送される



PCBを含む廃棄物の試験運転で、施設の性能を確認

PCBを含む廃棄物を使用して、実際と同様の運転条件で処理を行い、処理・環境保全・作業環境の性能を確認しました。

PCB廃棄物負荷試験運転

（平成20年1月～3月）

PCB油約125トン、トランス19台、コンデンサ224台、

確認項目及び評価結果

処理性能

●トランスとコンデンサに含まれる

PCB油については、設計した運転条件で、所定の時間内に所定の量を処理できました。処理後の油には、ダイオキシン類などの有害物質は含まれていませんでした。

●処理した廃棄物に含まれるPCBの量は、基準値以下でした。

環境保全性能

●排気ガスと排水に含まれるPCBやダイオキシン類などの有害物質は、排出管理目標値以下でした。

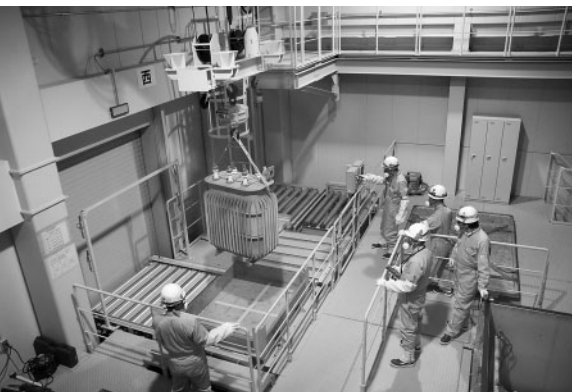
●騒音・振動・悪臭は、環境モニタリング計画の規制基準値以下でした。

作業環境性能

●処理施設内のPCBやダイオキシン類などの有害物質を測定した結果、作業者の健康へ与える影響に問題はありませんでした。

その他

●災害や施設の異常など、緊急時に対応する連絡体制の確認や防災訓練



処理施設内の見学ルートで、PCB廃棄物の受け入れや処理などの作業状況を見ることができる。見学には、事前の申し込みが必要



有害物質による汚染を想定した、負傷者の救助訓練

●施設の管理運営を行う作業員に対し、関係法令や運転方法などの教育訓練を行いました。
●試験運転に使ったPCB廃棄物は、本格操業後と同じ条件で収集運搬を行い、運搬時の交通事故を想定した復旧・通報訓練も行いました。
●試験運転終了後の4月1日、最終確認運転中にチューブの取り付け不良による潤滑油漏れ事故が発生しました。この事故による施設外へのPCBの漏えいや、作業者の健康への影響はありませんでした。事故後、日本環境安全事業(株)では、原因究明と類似箇所の調査・点検をするとともに、適切な改善を行い、安全性を確保しました。

《詳細》日本環境安全事業(株)
北海道事業所総務課
☎23111 FAX23001